

『大阪関西万博は未来予想図！』

4月17日、お休みをいただき思い切って、大阪関西万博にプライベートで行ってきました。議会で万博への修学旅行を心配していただいたので、教育委員会としての下見を兼ね、安全面を確かめてきました。さすがに「命輝く未来社会」を合言葉にするだけあって、休憩・医療・暑さ対策・水分補給など十分な手立てがなされていました。万博は未来予想図、時代を映す鏡と言います。レベル4のEVバス・空飛ぶ車、スマートシティーを目指す先端デジタル技術、バーチャル万博(アバターとして万博に入り込む)、水と空気のスペクトルなアート万博(素晴らしい噴水施設)、リユースマッチングをめざす大屋根リングなどリアル会場とバーチャル会場があり、まさにsociety5.0の万博となっています。その中でも大屋根リングから見る風景の素晴らしさ。大屋根リングをゆっくり歩いてみると心地よい海風が吹いていました。また大型液晶ビジョンがいたるところにあり、その中でも津島に本社がある長田広告の大型LED液晶ビジョン「NAGATA」が目立っていました。ガンダムや吉本館も人気上がりそうです。食べ物やお土産も大阪らしいものが並んでいました。

春休みの3月末に、奈良県の山の辺の道を歩いてきました。この道は古代から中世にかけての官道です。今となっては狭い道ですが、車も多分馬もなかった時代には十分な広さの道でした。桜井市の三輪(三輪大神神社)から柳本を通り、天理まで15キロほど歩きました。それほど暑くなかったので、助かりました。官道沿いには、梅・桃・桜が咲きほこり、菫や大和橘が片隅に咲いていました。いたるところに万葉の歌碑がたっており、まさにピクニック気分となりました。大きな河川がなく、この地方独特のため池があります。またうず高い丘はすべて人の手による古墳の名残です。有名な卑弥呼の墓でないかと考えられる箸墓古墳や邪馬台国の王都と考えられる纏向遺跡も近くにあり、古墳の周溝を楽しみながら歩くことができます。天理市に入ると沢山の宗教施設(教会・詰所)を見ることができ、日本最大の宗教都市となっています。

以前、私はやなせたかしさんが大好きだと書きました。今年のNHK朝の連続小説「あんぱん」を楽しく視聴しています。やなせさんとその奥様らしき人を主人公とした連ドラ、「正義とは」「人は何のために生きるのか」など少し哲学的な人としての根本的なあり方が問われます。

早暁の薬師めぐりや梅開く

令和7年5月1日

津島市教育委員会
教育長 浅井厚視